

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

福島学院大学 実施報告書



実施主体 細川ゼミナール

実施内容 令和5年11月8日

こども学科1年生への講義

令和5年11月17日

映画「189」の鑑賞会

①事前に取り組んだ内容

児童虐待防止を呼び掛けるために何ができるのか、また、どんなことを伝えたいのかをゼミ内で話し合った。

啓蒙・啓発の一環として、オレンジリボンを取り入れた特性ステッカーを作成した。

また、CAPの「暴力防止プログラム」のワークショップを受け、児童虐待についての理解を深めた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

こども学科1年生へ向けての講義では、パワーポイントを用いて「オレンジリボン」や「児童虐待」についての説明、グループごとに虐待について考える演習、特性ステッカーと映画鑑賞会を告知するチラシを配布した。

映画鑑賞会では、映画鑑賞後のアンケートを配布・回収し活動後の振り返りに使用し、参加者には特性ステッカーを配布した。

③オレンジリボン運動を終えて…

講義に参加してくれた学生との演習、映画鑑賞会で回収したアンケートから、この活動を通して児童虐待について考える良い機会となっていたことが分かり、ここから今後も児童虐待について少しでも意識することに繋がってほしいと感じた。

児童虐待防止を呼び掛けるために、どのようなことを伝えたいかを考える中で、児童虐待に関心が向いていても、身近に感じていることのない人たちが多く、その人たちにいかに身近に感じてもらえるかということが大切なのではないかということに気付いた。

そのため、引き続きゼミ活動の中で私たち自身の理解も深めながら、オレンジリボン運動を通じてより多くの人に伝えられるよう活動を継続していきたい。



【学校名】 <https://www.fukushima-college.ac.jp/>